

# 東京YMCA

2025

## 東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体的全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

# Merry Christmas

今号は、篠田真紀子牧師からクリスマスメッセージをいただきました。  
私たちが共に主イエス・キリストの誕生を祝い、希望や喜びを分かち合う時であるクリスマスに、世界中の困難な状況にあるすべての人々が光と温かさで包まれ、新たな歩みが始まることを祈ります。



日本キリスト教団  
浅草教会  
のだまきこ  
篠田真紀子牧師

### プロフィール

2014年より浅草教会の主任担任教師。数多くのキリスト教系学校で聖書科非常勤講師を務めてきた。2023年より東京YMCA評議員。他に、遺愛学院評議員。

## クリスマスという転機

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」

### 静かな奇跡

ある日の学校礼拝でのことです。クリスマス前になると、同じ聖書箇所が何度も読まれるので、生徒たちは「また同じ話か!」となかなか聞く耳を持ってくれません。それで私は、どうしたら聞いてもらえるか試行錯誤して、中高生男子を相手に、まるで絵本を読み聞かせるように、ゆっくりやさしく本当に小さな子どもにするようにしてみ

### 神さまから「あなたがた」へ

他に、こんな感想もありました。「羊飼いたちは、最初、天使の言葉をそのままだに受けとめられなかった。それが人間のだな、と思った。僕もいつもちゃんと聞いていなかった。でも、神さまはそんな僕のことを決して忘れずにいてくださることが分かって嬉しかった。」これにはアーメン!本当にその通り!と思います。クリスマスとは、最初に天使が「あなたがたの救い主」と伝えたと、その「あなたがた」に入らない人はいないのです。

### 「受け入れること」から始まったクリスマス物語

もう一つ、忘れられない幼稚園のクリスマス礼拝があります。牧師が「ま

### 光に歩む

「羊飼いたちが、天使の言葉を受けて乳飲み子イエスさまに会いに行くリエルだったのです。その時、聖書のいろいろな出来事や物語について、それはこういうものだ!と決めつけて、新しい神さまの御言葉を聞いて、自分たちが聞かなくてはいけないこと、気づかされてしまった。いや、それは聖書の言葉だけではなく、人の話に対してもそうかもしれない。毎日のニュースを聞く時にもそうかもしれない。情報が溢れているこの世界で、逆に私は聞く耳を失ってしまっているかもしれない。そう思わされた出来事でした。そしてそれは、天使が告げた「今日ダビデの町であなたがたのために救い主がお生まれになった」という、その本質的なことについても同じことを思うのです。まさに生徒が感想に書いたように、天使のお告げは人間にとって全く受け入れられないものなのです。とても思えない。それが天使のお告げ!神の言葉だ!というのです。しかし、クリスマスの出来事は、この人間には受け入れ難い、信じ難い、突然の神の言葉から始まり、それを受け容れられず、どうしようかと思ひ巡らし考え込む、そういう人々によって担われ進められていくのです。それがマリアであり、ヨセフであり、羊飼いの達であり、東方の学者たちなのです。

「羊飼いたちが、天使の言葉を受けて乳飲み子イエスさまに会いに行くリエルだったのです。その時、聖書のいろいろな出来事や物語について、それはこういうものだ!と決めつけて、新しい神さまの御言葉を聞いて、自分たちが聞かなくてはいけないこと、気づかされてしまった。いや、それは聖書の言葉だけではなく、人の話に対してもそうかもしれない。毎日のニュースを聞く時にもそうかもしれない。情報が溢れているこの世界で、逆に私は聞く耳を失ってしまっているかもしれない。そう思わされた出来事でした。そしてそれは、天使が告げた「今日ダビデの町であなたがたのために救い主がお生まれになった」という、その本質的なことについても同じことを思うのです。まさに生徒が感想に書いたように、天使のお告げは人間にとって全く受け入れられないものなのです。とても思えない。それが天使のお告げ!神の言葉だ!というのです。しかし、クリスマスの出来事は、この人間には受け入れ難い、信じ難い、突然の神の言葉から始まり、それを受け容れられず、どうしようかと思ひ巡らし考え込む、そういう人々によって担われ進められていくのです。それがマリアであり、ヨセフであり、羊飼いの達であり、東方の学者たちなのです。」

## 赤三角

未来は原則として不確定である。だからこそ唯一絶対の正解はない。矛盾や揺らぎを抱えながら進む力の大切さを、社会人になって約十年、改めて感じている。その力を、私は学生時代、YMCAで先に受け取っていたのだと思う。▼山手センタで野外活動をしていた頃。楽しいことが山ほどあった一方で、葛藤も絶えなかった。当時の私は、異なる価値観との出会いに戸惑い、合わせずぎて苦しくなったり、自分の正義をぶつけすぎてしまったりしていた。その時、ディレクターは「きれいな言葉にならなくても、揺らぎごとく受け入れていい」と教えてくれた。何でも論理で理解したい私にとって、それは咀嚼に時間がかかる考え方だった。▼キャンプという特別な空間。寝食を共にし、遊び、語り合う中で、他者を知り、仲間になっていく。一見矛盾する二つのことも「あれもこれも」と捉え、それぞれの良さを活かしていく。多様な人がいるからこそ、より輝く場所なのだと感じられた。▼YMCAは、違いがあるからこそ生まれる揺らぎを楽しめる場所だと思う。そしてこれからは、私もそんな場を担う一人でありたい。

(評議員 倉友 粋)









# TOKYOYMCA VISION 150

— 希望を耕し 未来を紡ぐ —

2025年度東京YMCA運営方針では、世界のYMCAが共通して掲げる「VISION2030」の4つの柱を基本に、地球環境への取り組みを一層強化して、2025年4月、東京YMCA全体としての気候変動対策を推進するための「気候変動対応プロジェクト」が発足しました。

9月17日には、東京YMCAが2030年に向けて作成した独自計画「TOKYOYMCAVISION150」の「気候変動に対するアクション」が発表されています。

温室効果ガス、特にCO2排出量の増加にはさまざまな要因があります。電気を消費する過程で生じるCO2排出が地球温暖化の主な要因の一つとされています。電気

## 気候変動対応プロジェクトチームメンバー

池田麻梨子さん（T Y I S）・大竹薫子さん（東雲児童館）  
・上瀧徹也さん（高等学院）・黄梦婷さん（高尾の森わくわくビレッジ）・杉田裕樹さん（野外教育・ユース）・張津津さん（国際ホテル専門学校）・米山志保さん（YMCAキャナルコート保育園）・戸坂昇子さん（本部事務局）

## 「気候変動対応プロジェクト」始動

師走の自分を表す言葉として連想するのは、バタバタ、ドタドタ、そわそわ、ワサワサ、ざわざわ…。いわゆる「繰り返し言葉」がしっくりきます。

おぼしがひかる  
ぴかぴか  
ふしぎにあかく  
ぴかぴか  
なにがなにがあるのか  
おぼしがひかる  
ぴかぴか

YMCAの園でもよく歌われる、よく知られたクリスマスのごもさんびかです。ここにも繰り返し言葉が登場します。でも、読んでみると、なぜ星は「きらきら」ではなく「ぴかぴか」なのかわからず、正解です。も

か。その星に導かれる旅路だからこそ、喜びに満ちた力強い足取りの「かばかば」。そんなメッセージが込められているのかもしれない。慌ただしい師走ですが、その「バタバタ」も「ぼどぼど」に。イエスの誕生の喜びを、多くの人と「ここに」分かち合えるクリスマスにしたいと思っています。

## 連想ゲーム

子どもが歌いやすいように、語感を明確にするために、という理由があるのでしょうか。でも、それだけではないようにも思えます。イエスの誕生を知らせる星だからこそ、より明るく、はつきりと輝く「ぴかぴか」

## 野の花、空の鳥

東京YMCA総主事  
星野 太郎



## 地域に広がる交流の輪

### — わいわいハロウィンinしのめ —

YMCAの運営する7つの施設がある東雲エリアで10月29日、恒例の「わいわいハロウィンinしのめ」が開催されました。コミュニティーづくりを目指した活動の一環であるこのイベントは、今年で11回目を迎え、すっかり地域に根差した催しとなりました。

YMCAの7拠点の他、公団住宅やコンビニエンスストアにもご協力いただき、スタンプラリーやプレゼント配布、フォトスポットなどを設置。思い思いに仮装した子どもたちが、東雲の街を元気いっぱいに巡りました。各拠点で配布したプレゼントの合計数は1,000個を超え、今年も盛況のうちに終えることができました。

開催にあたっては、今年もできる限り多くの近隣の保育園やお店などを訪ね、ポスター掲示やチラシの設置、イベントへの参加を呼びかけました。そのかいもあり、当日はYMCAの園や学童などに通う子どもたちだけでなく、地域とのつながりづくりを模索している保育園なども参加してくれました。“地域と交流したいが、きっかけの作り方がわからない”という悩みを抱える保育施設があることや、今回のイベントを初めて知ったという小規模な保育施設があったこともわかり、新たなつながりを生み出す機会となりました。今後さらに交流の輪を広げていけることを期待しています。

また、グランチャ東雲を利用する高齢の方々が、子どもたちの姿を笑顔で見守る光景にも、温かい気持ちをいただきました。東雲エリアでは、今後もさまざまな世代が共に楽しみ、共感できるイベントづくりに取り組んでいきたいと思います。

（グランチャ東雲 館長 愛洲久美子）



プレゼントを楽しみにやって来る子どもたち



フォトスポットで飾りを見入る  
YMCAキャナルコート保育園の子どもたち

## シリーズ 資料室の窓から<125> 『神の同労者』

本会元副総主事 齊藤 實

1955年、今から70年前のことである。戦勝の国連米国軍による日本全土の占領が終わって3年を経過していた。この年、世界各地のYMCAから会員がパリに集まった。世界YMCA同盟結成100周年を記念する大会が開かれたのであった。日本人の海外渡航はまだ許されない。アジア・太平洋戦争敗戦後まだ10年しか経ってはいなかった。一般市民の海外交流「YMCA会員は神の同労者」働こうではあり



世界YMCAと日本YMCAをつなぎ、戦後のYMCA活動を支えた冊子『神の同労者』

には未だ門は閉ざされたままとして働く、との自覚で立ちまっせんか」と。今の新共同識であったが、パリ大会には、働いたのは、理事・委員・リール聖書では次のように言う。「私たちは神のために力を合わせ送ることができたのは特別な配慮があったからであった。YMC A同盟成立百年記念大会研究指針」として頒布された。日本YMCA五十年前進運動」を全日本規模で展開し文で、世界YMCA同盟会長今こそ、プログラムを推進する私たちは、「神の同労者」としてYMC A活動を進めてい



## INFORMATION

## ■早天祈祷会(1月・2月)■

会員有志が聖書について自分の考えなどを語る「奨励」の後、皆で祈り讃美歌を歌います。クリスチャンでない方もお気軽にどうぞ。

日 時：2026年1月5日(月)  
7:00～8:00

奨励者：田口 努氏(公益財団法人  
日本YMCA同盟総主事)

会 場：山手センター／オンライン  
問合せ：会員部(03-6278-9071)

日 時：2026年2月2日(月)  
7:00～8:00

奨励者：古賀 博牧師  
(日本基督教団早稲田教会、

東京YMCA評議員会会長)

会 場：山手センター／オンライン  
問合せ：会員部(03-6278-9071)

## ●●● 会員のご案内 ●●●

「会員」とは、東京YMCAの主旨に賛同し、会費によって活動を支援してくださる方のことです。YMCAは、青少年の健全な成長をサポートし、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるために、より多くの会員と共に活動していけることを願っています。



詳細はこちら



## ワイズコーナー

Y'S MEN'S CLUB

Vol.33

## 世界につながるワイズメンズクラブ(6)

## 在京12クラブの結束がさらに大きな力に!

東京YMCAをサポートするワイズメンズクラブが東京には12クラブあり、「在京ワイズ」と呼ばれています。さまざまな形でYMCAの活動を支援するボランティアグループです。もよりのYMCAセンターや、YMCA幼稚園、保育園、こども園、YMCAキャンプ場、学生YMCA、活動地域のみなさんと一緒にYMCA活動を担い、イベントの開催や、困りごとに手を差し伸べ、背中を押し、力を貸しています。

過日開催された第39回東京YMCAインターナショナル・チャリティーランでは、在京12クラブすべてが何かしらの形で関わることができました。駅伝大会1チームの参加費10万円・走者6人という高いハードルに、東京YMCA会員部と在京12クラブの会で連携を取り、資金面でサポートするワイズと走りたい学生をマッチングし、にほんご学院生やユースリーダー、子どもたちなど、たくさんの方にイベントに参加してもらうことができました。当日のワイズは、出走メンバーの他、黄色いチャリティーランのピブスを着た会場ボランティアとしてコース運営のお手伝いや走者の応援、荷物管理、募金協力の声掛けなどの得意分野で活動しました。

シニアのメンバーも多くなりましたが、東京YMCAとワイズには活躍の場、居場所があります。大きくなったボーイズ、ガールズの皆さんもYMCAと一緒にサポートしませんか?



チャリティーランでのボランティア活動



在京ワイズクラブ会長会幹事：小原史奈子(東京たんぽぽYサービスクラブ)、伊藤幾夫(東京多摩スマイルワイズメンズクラブ)

## 東京YMCAメルマガ登録募集中

東京YMCAのプログラムやボランティアなどの情報をお届けします。月1～2回の不定期配信。登録はこちら



## 東京YMCA公式SNS

Instagram

<https://www.instagram.com/tokyoymca/>

x(旧Twitter)

[https://x.com/Tokyo\\_YMCA](https://x.com/Tokyo_YMCA)

Facebook

<https://www.facebook.com/tokyoymca>

## 東京YMCA英語クラス

英語を通じて 世界とつながっていく

## だから選ばれる、YMCAの英語クラス

- 100年以上の歴史と実績を誇るYMCAの英語教育
- 英語を通じて、グローバル社会で活躍する力を養成
- 多様性を受け入れる心と主体性を大切に教育

## 豊富な選択肢

- 東陽町・山手(高田馬場)・東雲・江東センターで開講
- 親子クラス、幼児・小学生クラス(60～120分)、英語放課後プログラム(3時間)、成人クラスなど
- 初心者から帰国生レベルまで対応
- 幼児から大人まで対応

公式Instagramで最新情報をチェック!



新年度の申込受付は1月下旬からスタート!

4月からのクラスや詳細については、お気軽にお問い合わせください。



問合せ：東京YMCA語学教育センター(東陽町)  
TEL.03-3615-5567  
Email. yest1890@tokyoymca.org

## 体験型活動事業「わくビレ自然調査隊 冬」

小学生の親子を対象に、わくわくビレッジの森やピオトープにいる生き物の調査を行います。調査隊になって双眼鏡を使用して、観察するだけでなく、パパやママのスマートフォンで生き物の写真を撮って調べたり、みんながわかるように情報の共有化を図ったりします。また、今までに作った「BEE HOUSE」や「エコスタック」のその後の様子をチェックし、どんな生き物がいるのかを観察します。そして、「バードハウス」(野鳥の巣箱)作りも行います。子どもも大人も、専門家の方に教わりながら、普段できない研究調査を行いますので、この機会にぜひ調査隊の一員になってみませんか?

詳しくはお電話またはフロントにてご確認ください

高尾の森わくわくビレッジ

☎ 042-652-0911

〒193-0821 八王子市川町55  
[www.wakuwaku-village.com](http://www.wakuwaku-village.com)

高尾の森わくわくビレッジはYMCAスタッフが運営しています

開催日 2026年2月7日(土)

時 間 10時～16時

対 象 子どもが小学生の親子

定 員 15組  
※定員を超える場合は抽選費 用 ひとり 1,430円(税込)  
※昼食代含む

(大人1名 子ども2名の場合は4,290円)

申込み 12月1日(月)～1月12日(月)

応募方法：メール(event@wakuwaku-village.com)に以下を記入の上ご応募ください。①参加者全員の氏名(ふりがな)②年齢/学年③郵便番号・住所④電話番号⑤何でイベントをお知りになりましたか?